



桑葉の旗のもとに



令和7年11月4日第7号
青梅市立第三中学校
校長 小熊 克也

教育目標 学ぶ 鍛える 思いやる
経営理念 自分と人類の幸福を創造する人材の育成

11月号

〇「幸運は準備された心に宿る」と「無用の用」

合唱祭の余韻に酔いしれるほど素晴らしい合唱祭となりました。合唱祭の練習が本格したのが合唱祭2週間前の10/15からでした。練習の始まりは気乗りしないクラスが多いかもしれないと各クラスの練習風景を丹念に見ていきましたが、校長の予想は良い意味で覆されました。学年を問わず、実行委員、パートリーダー、指揮者、伴奏者が課題や解決策を言い合い、練習の時から本気度がうかがえました。だからどのクラスも素晴らしい合唱ができたのだと思います。「賞が取れた・取れなかった。嬉しかった・悔しかった。」のは当然あったことですが、それらを超越する心地よさや団結できた喜びがあったのも事実です。そういった点では、表題前半の「幸運は準備された心に宿る」という言葉がフィットします。とことん練習しなければ味わえなかった光景です。このことは来るべき受験や就職を考えたとき、今取るべき行動に示唆を与えるものと考えられます。さて、今年はノーベル賞を日本人が2人も受賞するという、正に快挙で嬉しい出来事が重なりました。ノーベル生理学・医学賞に大阪大学特任教授の坂口志文さん、ノーベル化学賞に京都大学特別教授の北川進さんが輝きました。北川博士は、同受賞記者会見で次世代への思いを問われ、「幸運は準備された心に宿る」というパスツール（1854 フランスの生化学者・細菌学者）が使った言葉を挙げられました。北川博士は更に「宝くじを引いたからといって当たるものではない。チャンスは祈るものではなく、自分で作り上げるものなんです。」と語気を強めました。北川博士が同賞を受賞した理由は、MOFという金属有機構造体（ナトリウムイオンなど金属イオン【3年理科で学習】と有機分子【1・2年理科で学習：有機化合物（有機物）の分子レベルのこと】を混ぜてできる物質。）の創出によります。MOFはその内部には超微細な穴が多数あり、この穴の大きさを変えられるのが特徴です。このため、MOFの応用次第で例えば、二酸化炭素など地球温室効果ガスの除去や水が少ない砂漠地域における空気からの水分吸着などの技術が期待されます。今でこそMOFは注目の的になってきましたが、開発した当初（1997）は、活性炭（冷蔵庫の脱臭剤として使われています。）といった代表的な多孔性材料と比較され、「わざわざ有機物で値段の高い物を作って何になるのか」と批判を浴びたそうです。アメリカで開かれた研究者の会議では発表するそばから厳しく批判され、「お前は間違っている。」とまで言われました。北川さんは記者会見でその時の苦しみを伝えるとともに自身を勇気づける言葉として、表題後段の文字「無用の用」の大切さを説きました。これは、中国の思想家・莊子（紀元前300年頃）の言葉を引用し「その時代にみんなが求めているものばかり見ず、少し視点を変えると、違うものがよくなって見えてくる。」と言った教えです。これも意味深（長）な言葉です。これから皆さんに降りかかる進路先（高校等や就職先）も星の数ほどありますが、「みんなが塾や高校〇〇科、〇〇会社に行こうとするから自分も行く。」ではなく、本当に自分にとって必要な進路（自分の生き方、自己実現）を選択することの大切さを問うていると言っても過言でないかと思われます。3年生に進路三者面談が始まり、そして12月に全学年三者面談を控えている中、表題の文字を何度も思い返すようにと願っています。それから、今一度学校の状況を考えてもらいたいことがあります。本校では令和7年10月10日に「学校生活指導重点期間への移行について」が発出され、学校が荒れないよう、教員が教室や廊下等を立哨するとともに地域の方、保護者様のお力をお借りして最善の努力をしてきている所ですが、まだ必要な状況です。「幸運は準備された心に宿る。」を考える時、逆に「準備のない所に幸運は訪れない。」とも言えると思います。となると学校の荒れは一大事です。それは大切な幸運の準備を妨げる行為に他ならないからです。改めて、授業妨害（授業エスケープを含む。）、暴力・破壊・迷惑行為（過度の心身の痛みを伴うじゃれ合い、指笛、廊下走り、窓出を含む。）は、公共の秩序を乱し、お互いを大切にしていけないと悟るべきでしょう。



たわわに実り色づき始めた三中の温州ミカン 10/25

〇11月等の学校ポイント

(1) 3年生は第2回(進路)三者面談が続いています

10/20に行われた進路説明会へのご出席有難うございました。令和8年度入学選抜の実施要綱等が定まった今、3年生はいよいよ進路選択の大詰めを迎えようとしています。迷いや不安が大きくなることもあろうかと思いますが、大切なことは、高校等進学先の先にある自分の将来の生き方や夢、就きたい職業や興味のあることなどについて、本当にしたいことは何なのかを追求することです。中学校段階で決定することは難しいことですが、でも考えることが必要です。そして、まだ明確なイメージができなくても、ある程度の方向性が出てきたらしめたものです。その実現に少しでも近づけるための進路選択であってほしいと願っています。なお、3年生の進路選択の最終確認は12月の三者面談(12/1～)となっています。

(2) 11/12(水)・13(木)・14(金)は期末考査です

後1週間少々で来てしまいます。日々の授業を大切にするとともに計画的に対策をして行きましょう。3年生は、進路に使用される成績としてのラストチャンスになるので、諦めないで少しでも前に進められるように、努力していきましょう。3年生は11/23(日)に東京都中学校英語スピーキングテストもあります。都立高入試(1次・分割前期募集)で加点されますので、こちらも頑張りましょう。

(3) 2年生は東京2025デフリンピック観戦があります11/18(火)

京王アリーナTOKYO(武蔵野の森総合スポーツプラザ【調布市】)で開催されるバドミントンを観戦します。バスの学校発時刻は朝7時30分でいつもより早いので2年生は注意しましょう。デフリンピックは国際的な「きこえない・きこえにくい人のためのオリンピック」であり、国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際スポーツ大会です。東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、日本では初めての開催となる大会です。この記念すべき日に2年生は観戦できることに意義を感じていただけたら幸いです。観戦マナー等も大切にしてください。

(4) 学校評価を行います(依頼)

学校では、年度当初に学校経営ビジョン(4月保護者会配布。学校HPに掲載)を定め、これに基づき学校教育を進めています。同ビジョンの重点化を別添の通り定め、この進ちょく状況の評価を行うものです。学校評価をするにあたって、生徒や保護者のアンケート調査が欠かせません。ご多用の所、恐れ入りますがご協力いただきますようお願いいたします。

- ① 保護者周知(ご案内) 令和7年11月17日(月)に生徒配布 ※メールでも行います。
- ② 方法 二次元コードを利用したスマホ等による回答 ※記述を行う場合は、校長宛文を、生徒を通じて提出
- ③ 期限 令和7年12月8日(月)

(5) 全校三者面談が12月1日から始まります

夏休みに行われた三者面談では、学習・生活等に関する1学期の成果と課題・改善策を共通理解しました。12月三者面談では2学期が3ヶ月経った今、同改善策の進ちょく状況、新たな成果と課題・改善策の共通理解などを行っていきます。また3年生は進学・就職先選択の決定の場となります。

〇生徒会を中心にした校則の点検・見直しへの取組その2



生徒会朝礼の様子 10/20

先に行われた校則の点検・見直し生徒アンケートの集計結果を基に分析・方向性がアナウンスされました。

ひょうしょう
○表彰の報告～おめでとうございます～ ※敬称略

JA 西東京小中学生書道コンクール

●半紙の部 銀賞：1-3○○○○○ 銅賞：2-1○○○○○

中学生の「税についての作文」

青梅市長賞：3-4○○○○○

青梅市スポーツ奨励賞

3-4○○○○○・1-2○○○○○（第62回全国空手道選手権大会出場 R6.11.24）

○10月学校の様子 第三支会スポーツフェスティバルへのボランティア活動 10/19



笑顔と学びの体験活動プロジェクト「オズの魔法使い」10/14



合唱祭 10/29



校歌



1年 学年合唱



2年 学年合唱

入賞結果

	金賞	銀賞
1年	4組「地球星歌 ～笑顔のために」	1組「旅立ちの時 ～Asian Dream Song～」
2年	2組「YELL」	4組「あなたへ」
3年	1組「手紙 ～拝啓十五の君へ」	4組「信じる」

1年



2年



3年 学年合唱



3年



○部活動、がんばっています（10/4～10/26）※敬称略

※陸上競技部で前号にて紹介しきれなかった部分の紹介を含んでいます。

部活動名	大会名	団体／個人	大会日	対戦校	勝敗結果	内容等
卓球	第8ブロック新人卓球大会	個人	10月26日			
野球	地区大会	団体	10月13日			
陸上競技	第78回東京都中学校体育連盟第8ブロック 陸上競技大会	個人	9月23日			
		個人				
		個人				
		個人				
		団体				
		団体				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		団体				
		団体				
		団体				
	第78回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会（都大会）出場		10/11・12			
		団体				
		団体				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		個人				
		団体				
		個人				
		個人				
	第8ブロック中学校サッカー新人大会 ベスト4 決定戦	団体	10月11日	秋多	勝	スコア：2－0
サッカー (三・霞台合同チーム)	第8ブロック中学校サッカー新人大会 決勝リーグ第1節	団体	10月18日	羽村	負	スコア：0－9
	第8ブロック中学校サッカー新人大会 決勝リーグ第2節	団体	10月25日	福生	負	スコア：0－5

11月・12月前半の予定

★給食あり

ST：放課後ステップアップクラス

月	火	水	木	金	土・日
3	4★	5★	6★	7★	8・9
文化の日	3年三者面談 SC ST	3年三者面談 期末テスト1週間前	3年三者面談 SC ST	3年三者面談 教育委員会来校 (②③) ST	
10★	11★	12	13	14★	15・16
表彰朝礼 3年三者面談終 ST	SC ST	期末テスト (国・社・美)	期末テスト (数・音・技・家) SC	期末テスト (英・理・保体) 3年卒アル撮影	
17★	18★	19★	20★	21★	22・23
全校朝礼 学校評価アンケート配布 (保護者入力等) 3年復習確認テスト ST	2年デジタル観戦 2年のみ⑥カット SC ST	職員会議	一斉・代表者委員会 SC ST 3年数学教室	新入生保護者説明会 ST	23 勤労感謝の日 3年 ESAT-J
24	25★	26★	27★	28★	29・30日
振替休日	SC ST		安全指導・命の日 避難訓練 SC ST 3年数学教室	ST	
12月1日★	2★	3★	4★	5★	6・7
全校三者面談始 4校時まで授業	全校三者面談 4校時まで授業 SC	全校三者面談 4校時まで授業 SC	全校三者面談 4校時まで授業	全校三者面談 4校時まで授業	
8★	9★	10★	11★	12★	13・14
全校三者面談終 4校時まで授業	SC ST		一斉委員会 SC ST 3年数学教室	代表委員会 ST	14 3年 ESAT-J 予備日

予定は変更になる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。

三中学校評価の項目等

＜学校経営方針の重点＞ 自分と人類の幸福創造する人材の育成の視点（Agency 教育【OECD LearningCompass2030】）に立って三中教育目標に迫る。

三中教育目標	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価
学 ぶ	Agency 教育に基づく、授業改革の推進と、家庭学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> ●【学習指導力の向上】教科の授業等で、生徒が自立した学びの指導ができる教師 ●家庭学習に取り組む生徒の増加 	①研究主題「学ぶ意欲を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを一体化した授業の創造」に基づき校内研究を進める。 （各学年研究授業実施）【教師】	
			②日常の教科授業で生徒が自立した学び、即ち上記研究主題を基づく授業を実践する。 （授業割合30%以上）【教師】	
			③ICTの活用：電子黒板、タブレットパソコン等の使用の日常化を図る。（受験5教科は週2回以上、実技教科週1回以上）【教師】	
			④生徒に三中伝統の自学ノート及び三中授業外学習管理シートを活用して、家庭学習等の週日平均が1年は1.5h、2・3年は2h以上を目指す。【生徒】	
(個と集団を鍛える	Agency 教育に基づき、自分と皆の幸福を共に創造する。	<ul style="list-style-type: none"> ●青梅学の充実 ●リーダー生徒を育成し、同生徒及びフォロ－生徒が共に活躍する学校 ●早期の特別支援教育等の推進 	⑤3年間の青梅学を通して理想とする青梅を多角的・多面的に探究することにより幸福な日本・世界を創造する。	
			⑥自治能力と自己決定・責任能力を高める学校行事（体育祭、合唱祭、宿泊行事、校外学習）、生徒会活動等を行う。	
			⑦3年間を見通したキャリア教育等(1年職業調べ、2年職場体験、3年上級学校等の選択含む)	
			⑧特別支援教育について理解し、生徒の困り感を和らげ、生徒、保護者との共通理解の下、適切に支援する。 （特別支援教育委員会等や特別支援教室拠点校としての充実）	
思 いや る	Agency 教育に基づき、VUCA & Diversity & Inclusion 時代に生きる力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が主体となった校則の点検と見直し ●いじめ重大事態、特に不登校にさせない、組織行動に基づく初期対応の充実 ●長期欠席生徒や不安を抱えている生徒への支援の充実 	⑨校則ビジョンを制定し、生徒会が主体となった校則の点検・見直しのルーチン化を図る。現行及び未来の校則に関心をもたせるとともに生徒の参画意欲を引き出す。	
			⑩いじめ・暴力・自死ゼロを目指し、命や環境の大切さを実感する教育を推進する。（ボランティア活動、セーフティ教室、生徒会いじめゼロ運動、生命尊重をテーマにした道徳授業地区公開講座等の実施）	
			⑪長期欠席生徒に三中年間シートに基づく支援体制を構築する。1週間1回の家庭訪問、リモート授業、別室支援等を行う。他機関との連携も強化し、支援を継続する。不登校対応巡回教員、家庭と子供の支援員、SCと連携・シェアを図る。	
			⑫生徒の不安や期待を受け止め支援したり、生活指導等において生徒の意見表明権を保障したりする場面を日常化する。	